

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月29日 (2013.8.29)

【公表番号】特表2013-500302(P2013-500302A)

【公表日】平成25年1月7日 (2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2012-522123(P2012-522123)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/525 (2006.01)
 A 6 1 K 31/198 (2006.01)
 A 6 1 K 31/122 (2006.01)
 A 6 1 K 31/401 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4172 (2006.01)
 A 6 1 K 31/352 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/616 (2006.01)
 A 6 1 K 31/455 (2006.01)
 A 6 1 K 31/621 (2006.01)
 A 6 1 K 31/403 (2006.01)
 A 6 1 K 31/196 (2006.01)
 A 6 1 K 31/63 (2006.01)
 A 6 1 K 31/5415 (2006.01)
 A 6 1 K 31/60 (2006.01)
 A 6 1 K 31/407 (2006.01)
 A 6 1 K 31/444 (2006.01)
 A 6 1 K 31/405 (2006.01)
 A 6 1 K 31/542 (2006.01)
 A 6 1 K 31/365 (2006.01)
 A 6 1 K 31/355 (2006.01)
 A 6 1 K 31/42 (2006.01)
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/525
 A 6 1 K 31/198
 A 6 1 K 31/122
 A 6 1 K 31/401
 A 6 1 K 31/4172
 A 6 1 K 31/352
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 31/616
 A 6 1 K 31/455
 A 6 1 K 31/621
 A 6 1 K 31/403
 A 6 1 K 31/196
 A 6 1 K 31/63
 A 6 1 K 31/5415
 A 6 1 K 31/60
 A 6 1 K 31/407
 A 6 1 K 31/444

A 6 1 K 31/405
A 6 1 K 31/542
A 6 1 K 31/365
A 6 1 K 31/355
A 6 1 K 31/42
A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月9日(2013.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) リボフラビンと、

(B) 補酵素 Q、L - プロリン、グリシン、リジン塩酸塩、L - ロイシン、L - アルギニン、ビタミン E からなる群から選択される少なくとも 1 種類の化合物と、
を含有し、

UV - A 線から眼球の内部構造の保護用、又は経上皮架橋術式による円錐角膜の治療用である

ことを特徴とする点眼薬。

【請求項 2】

(A) リボフラビンと、

(B) ビタミン E と、

(C) 補酵素 Q、L - プロリン、グリシン、リジン塩酸塩、L - ロイシン及び L - アルギニンからなる群から選択される少なくとも 1 種類の化合物と

を含有する、

ことを特徴とする請求項 1 記載の点眼薬。

【請求項 3】

0.0001% ~ 0.5% の範囲内から選択される濃度のリボフラビン - デキストラン溶液と、

以下の化合物の群から選択される少なくとも 1 種類の化合物と

0.0001mg/ml ~ 2000mg/ml の範囲内から選択される濃度の
ビタミン E、

0.0001mg/ml ~ 2000mg/ml の範囲内から選択される濃度の
補酵素 Q、

0.0001mg/ml ~ 2000mg/ml の範囲内から選択される濃度の
L - プロリン、

0.0001mg/ml ~ 2000mg/ml の範囲内から選択される濃度の
グリシン、

0.0001mg/ml ~ 2000mg/ml の範囲内から選択される濃度の
リジン塩酸塩、

0.0001mg/ml ~ 2000mg/ml の範囲内から選択される濃度の
L - ロイシン、

0.00001% ~ 0.5% の範囲内から選択される濃度の L - アルギニン、
を有する

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の点眼薬。

【請求項 4】

0.1%の濃度のリボフラビン - デキストラン溶液と、
以下の化合物の群から選択される少なくとも1種類の化合物と

500 mg % ml の濃度のビタミン E、
100 mg % ml の濃度の補酵素 Q、
0.1 mg % ml の濃度の L - プロリン、
0.1 mg % ml の濃度のグリシン、
0.1 mg % ml の濃度のリジン塩酸塩、
0.1 mg % ml の濃度の L - ロイシン、
0.1%の濃度の L - アルギニン、

を有する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れかに記載の点眼薬。

【請求項 5】

リボフラビン - デキストラン 0.1%と、ビタミン E T P G S (D- - トコフェニ
ル ポリエチレングリコール 1000 スクシネート) 500 mg % ml と、補酵素 Q 100 m
g % ml と、L - プロリン 0.1 mg % ml と、グリシン 0.1 mg % ml と、リジン塩
酸塩 0.05 mg % ml と、L - ロイシン 0.08 mg % ml とを含有する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れかに記載の点眼薬。

【請求項 6】

点眼液又は点眼ゲルの剤形若しくは医療用コンタクトレンズに塗布するのに適合し
た剤形である、

ことを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れかに記載の点眼薬。

【請求項 7】

補酵素 Q、L - プロリン、グリシン、リジン塩酸塩、L - ロイシン、L - アルギニ
ン、ビタミン E からなる群から選択される化合物を含有し、UV - A 線から眼球の内部構
造を保護するために、又は経上皮架橋術式により円錐角膜を治療するために企図された、
リボフラビンの含有点眼液の調製用としての用途。

【請求項 8】

リボフラビンを含む点眼液により、UV - A 線から眼球の内部構造を保護する
ために、又は経上皮架橋術式により円錐角膜を治療するために、企図された、補酵素 Q、
L - プロリン、グリシン、リジン塩酸塩、L - ロイシン、L - アルギニン、ビタミン E か
らなる群から選択された化合物。